

「いちご王国・栃木」で いちご農家始めませんか



～ 1968年から連続 生産量日本一!! あなたも生産者の仲間入りしませんか? ～

栃木県で「いちご」栽培をお勧めする理由

- 🍷 生産量日本一の実績があるから心強い! ⇒ 半世紀以上に渡り生産量日本一!
- 🍷 とちぎの気候風土がいちご栽培に適している! ⇒ 冬期の日照時間が長い!
- 🍷 育成品種が多彩で様々なニーズに対応できる! ⇒ 全国唯一の「いちご研究所」が育成!
- 🍷 安定した収入が期待できる! ⇒ 大消費地に近いという立地で収益生が高い!
- 🍷 研修制度が充実している! ⇒ 農業大学校に日本初の「いちご学科」が登場!
- 🍷 行政の支援が手厚い! ⇒ いちご専門の普及指導員がいる!

いちご栽培の魅力
詳しくはコチラ



新規参入の経営モデル（とちあいか 20aの場合）

標準的な就農条件として以下のモデルを参考にしてください。

栽培面積など

- 品種は「とちあいか」
- パイプハウス20aの土耕栽培
ウォーターカーテンによる保温。
- 労働力は夫婦2人。必要に応じて雇用を導入。

資金

- 貯金600万円
- 就農地の市町から認められた「認定新規就農者」になり、就農当初を支援する補助事業等の申請をする。
- ハウス等の施設整備に係る費用のうち約3,000万円は青年等就農資金を活用する。なお、資金の返済は2年間の据え置きで、以後14年間で均等返済する。

栽培技術

- 栽培技術・経営管理手法は県が認める研修機関で習得する。
- 研修期間中は就農準備資金※により年150万円の交付を受ける。
※一定の要件を満たした上で審査を受けます。

農地・住居

- 栽培用、育苗用ハウス等の用地として40aの農地を借りる。
- 借地料は3万円/10aとし、井戸等を設置する。
- 農地の近くに借家を借りる。

初期投資費用

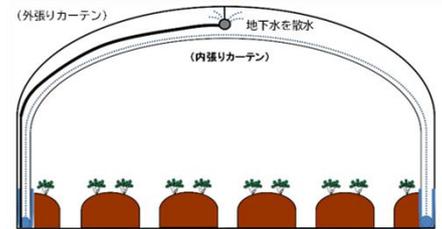
20aの場合、設備投資と1年目の経費を合わせて約3,800万円がかかります。

①設備投資費用

品名		金額(千円)
栽培用パイプハウス7棟 (かん水・ウォーターカーテン) 間口6m×奥行55m 内ハウス間口5.4m×53m	20a	14,100
育苗用パイプハウス1棟 間口6m×奥行50m	3a	3,000
井戸の掘削(25m)、配管	一式	7,000
電気工事	一式	1,300
予冷库(1.5坪)	1台	700
出荷調整施設		1,500
軽トラック(中古)	1台	700
動力噴霧機	1台	500
うね立機	1台	280
炭酸ガス発生装置	7台	1,400
ラップ機	1台	1,500
収穫用コンテナ	100個	50
収穫用台車	3台	45
背負式動力噴霧機	1台	30
小農具(スコップ、レーキ、鋏、はかり、薬剤散布用タンク等)		40
硫黄くん蒸器	16台	320
合計		32,465



施設全景



ウォーターカーテンハウス



ハウス内

②1作目の経費

品名		金額(千円)
種苗費(定植苗の親株)	400本	80
肥料費		250
農薬費		650
諸材料費(育苗培土、育苗トレイ、かん水チューブ、マルチ等)		900
賃借料(ミツバチ、トラクタ、借地料等)		500
動力光熱費		500
出荷資材費(10aあたり収量6tの場合)		1,300
共済掛金		300
支払労賃(10aあたり収量6tの場合)		1,300
合計		5,780

20a当たり経営収支

項目	10a当たり収量	5,000kg	6,000kg	7,000kg	8,000kg
収量(kg)		10,000	12,000	14,000	16,000
粗収益 ^{注1} (千円)		12,500	15,000	17,500	20,000
経営費(千円)		99,980	11,130	12,230	13,330
種苗費		80	80	80	80
肥料費		250	250	250	250
農薬費		650	650	650	650
修繕費		50	50	50	50
諸材料費		900	900	900	900
動力光熱費		500	500	500	500
賃借料		500	500	500	500
出荷資材費		1,100	1,300	1,500	1,700
運賃・手数料		2,200	2,600	3,000	3,400
共済掛金		300	300	300	300
支払労賃		450	1,000	1,500	2,000
減価償却費		3,000	3,000	3,000	3,000
所得 ^{注2} (千円)		2,520	3,870	5,270	6,670

参考 作業別労働時間

作業名	時間
育苗管理	433
定植準備	157
定植	75
肥培管理	134
葉かき等	318
その他栽培管理	28
病害虫防除	59
収穫・調整	1454
パック詰め	1,955
出荷	78
ハウス後片付け	93
合計	4,784

注1 単価1,250円/kgで計算

注2 夫婦2人分の所得

とちあいか平均収量

経営開始後5作目の目標

※令和6年1月現在の試算となります。

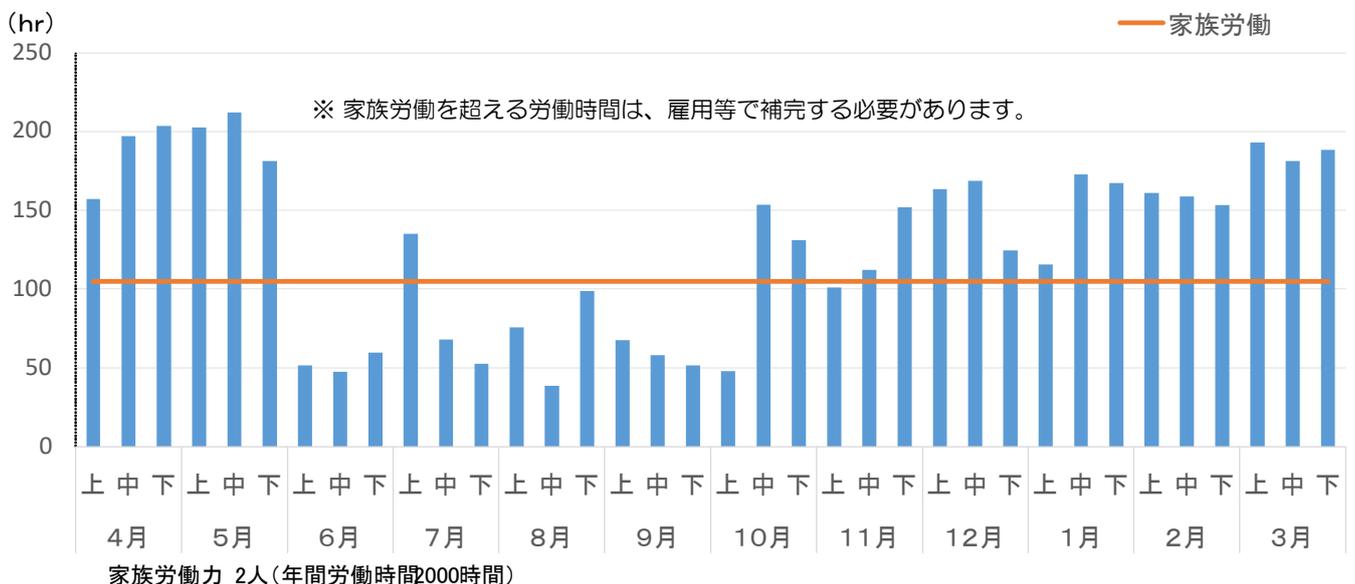
いちご栽培の一年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
育苗ハウス	親株管理（増殖）			仮植準備		仮植	苗管理			親株定植		
	収穫・調整・出荷			土壌消毒・定植準備			定植	保温準備			収穫・調整・出荷	
栽培用ハウス	かん水・換気			かん水・保温・換気			かん水・保温・換気			かん水・保温・換気		

※これら以外にも多数の作業があります。



20 a 当たりの旬別労働時間



就農までの進め方

情報収集

まずは、**とちぎ就農支援サイト「tochino-トキノ-」**をチェック！



農業を始めるためのポイントや役立つ情報を発信しています！

先輩生産者のインタビュー記事
就農支援情報（研修・農地等）
就農タイプ診断、イベント情報
オンライン相談予約 など

会員も募集中！

お役立ち情報をメルマガでお届け！

就農相談

☎ 就農に関する幅広い相談を希望する方

就農の具体的なイメージが固まっていない方は、とちぎ農業経営・就農支援センターにご相談ください。就農に関する基礎知識や一般的な流れなどご案内しています。

とちぎ就農支援サイト「tochino-トキノ-」（上記サイト）より相談予約が可能です。

《ワンストップ相談窓口》

とちぎ農業経営・就農支援センター（公益財団法人 栃木県農業振興公社）

〒320-0047 栃木県宇都宮市一の沢2丁目2番13号 とちぎアグリプラザ内

TEL：028-648-9515 FAX：028-648-9517

☎ 就農地がある程度決まっている方

就農予定地など、具体的なイメージが固まっている方は、栃木県内の各農業振興事務所にご相談ください。就農支援情報の提供や研修制度の紹介、就農計画作成へのアドバイスなど、地域の実情に応じた相談や情報収集ができます。

農業体験

栃木県や各市町・JA等が開催する就農体験イベントや農業インターン等で、農家の日常的な栽培管理を体験してみましょう。また、先輩生産者の話（やりがいや苦労など）も聞いてみましょう。

実践研修（1年以上）

現役生産者のもとで栽培技術等を習得できる研修制度や、講義と実習を交えながら学べる栃木県農業大学校（「いちご学科」、就農準備校「とちぎ農業未来塾」）があります。また、各市町・JA等で運営する独自の研修制度もあります。

農地や資金の準備

農地を探す際には、農地を貸したい人と借りたい人をつなぐ農地バンクを活用することができます。

いちご（20a）を始める場合、設備投資と1年目の経費を合わせて約3,800万円がかかります。

さらに研修中から農業所得で暮らせるようになるまでの生活資金（約2年分）を準備する必要があります。

市町から認められた「認定新規就農者」になることで、就農当初を支援する補助事業や無利子の融資制度への申請が可能となります。

就農開始

《新規就農を支援する補助事業等》

① 就農準備資金

- ・対象者：研修期間中の研修生（就農時49歳以下）
- ・支援額：定額（150万円/年、最長2年間）

② 経営開始資金

- ・対象者：認定新規就農者（就農時49歳以下）
- ・支援額：定額（150万円/年、最長3年間）

③ 経営発展支援事業

- ・対象者：認定新規就農者（就農時49歳以下）
- ・対象経費：農業用機械・施設、家畜導入、果樹・茶改植、機械リース等
- ・補助率：国1/2、県1/4
- ・限度額：補助上限 750万円
※②の交付対象者は補助上限375万円

④ 青年等就農資金（融資制度）

- ・対象者：認定新規就農者
- ・融資条件：借入限度額 3,700万円
貸付利率 無利子
償還期限 17年以内

⑤ 経営資源有効活用リフォーム支援事業

- ・対象者：認定新規就農者、施設移譲予定者等
- ・対象経費：継承又は継承予定の農業用機械や施設等の経営資源の修繕
- ・補助率：1/2
- ・限度額：補助上限150万円
※ただし、畜産施設は500万円

※一定の要件を満たした上で審査を受けます。
※事後内容等は変更となる可能性があります。